

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年4月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4699400059
法人名	有限会社 ひだまり
事業所名	グループホーム 故郷
所在地	鹿児島県大島郡和泊町手々知名775-1番地 (電話) 0997-92-3222
自己評価作成日	平成30年3月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年4月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「グループホーム 故郷」の理念
 あなたが一番「ホッ」する場所
 あなたが一番「笑顔」になれる場所
 あなたが一番「あなたらしく」できる場所
 そんな場所作りを心がけます。

入居者の笑顔や笑い声の耐えない環境を整え、安心安全に生活できるように、職員一人一人が、理念に近づけるように、介護技術の向上に努めていきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは併設のデイサービスの忘年会を昼間に開催し、事業所の利用者や長寿クラブの会員も一緒に楽しんでいる。
- ・春の花見が楽しめる季節には、個別に1対1で対応し、花見が十分に楽しめるよう支援している。
- ・園庭での食事やじゃが芋餅などのおやつ作りを、利用者と職員と一緒に楽しんでいる。
- ・入浴は週3回以上楽しめる様支援しており、利用者の希望する時間に入浴できるように配慮している。
- ・園庭の整備で、テラスから出入りがしやすく、災害時等に配慮をしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎月1回 各ユニットにおいて職員会議を行い、理念の共有に努めています。	事業所の理念を事務所に掲示し毎月の職員会議で確認し、利用者個々の思いを尊重し、対応できるように努め、実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事等に、地域住民代表者に案内状を送り、参加を呼びかけています。ホーム便りを家族及び運営推進会議並びに関係各所に送付。外部の慰問は積極的に受け入れています。	併設のデイサービス利用者との交流や集落の行事・港まつりに参加したり、事業所で行うクリスマス会に家族や地域住民の参加がある等、職場体験の受け入れも行い、地域との交流に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域住民へのPRは、特に実施していない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事への参加並びに昼食を入居者と一緒に摂りながら、ホームの現状を見てもらっており、年度終わりに、1年間の活動報告並びに入居者の現状報告及び次年度の活動予定等をお知らせしています。	運営推進会議で、入居者の状況や行事などを報告している。会議後一緒に食事をして、情報の交換を行い運営に反映している。運営推進会議は年4回開催している。	会議は年6回以上の定期的な開催を期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>入居者の各種手続き等を行っている関係から、定期的に情報交換及び協力は、できていると思われる。</p>	<p>入居者の状況など報告している。補装具の件で相談しアドバイスを貰っている。介護保険についてや研修会の案内など、行政との協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>各ユニットの職員会議や会社全体での研修や各種団体の研修会を利用し、虐待防止については研修を行っている。 朝の申し送り等を利用し、折に触れた虐待についても取り上げる。</p>	<p>身体拘束に関する研修会を年1回開催し、各種団体の研修会にも参加している。2ヶ月に1回の全体会の時にも研修している。全職員身体拘束をしないケアに取り組んでいる。制度の改正があった時はその都度研修会を実施している。日中の玄関の施錠は行ってない。外出を好む利用者へは職員と一緒に戸外の空気や買物を楽しんでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>各ユニットの職員会議や会社全体での研修や各種団体の研修会を利用し、虐待防止については研修を行っている。 朝の申し送り等を利用し、折に触れた虐待についても取り上げる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、5名の入居者が、福祉サービス利用支援を利用しており、担当者の訪問時には、入居者及び職員が、会話できる環境を作っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ホームへの入居を希望されるご家族へパンフレットの配布を行い、入居直前に、重要事項説明書で、説明した上で、身体拘束等の説明をした上で、再度契約書で確認しながら、説明と同意をもらっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	「苦情相談窓口」を設置し、対応している。 パンフレット及び重要事項説明書に、ホーム並び関係機関の連絡先を記載し、お伝えします。 日常的に意見や苦情は、耳を傾けるようにしています。	本人からの要望は日常的に聞いている。家族からの相談や要望は直接話し合っている。家族介護者の高齢や身体的な事情で利用者の面倒が見れない等で、「事業所に対応して欲しい」との要望を受け、事業所に対応する事が多い。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>各ユニットの職員会議を管理者や施設長が参加し、意見を反映する体制を整えている。</p>	<p>各ユニットごとや合同での職員会議を行い要望・意見を聞いている。勤務時間の見直しで休憩時間が確保できた事、ケア会議での各介護担当者の意見などもプランに反映でき、運営に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>全体的に、働きやすい環境を作るように、状況に応じて、変更を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ホーム内外の研修を利用し、スキルアップができるように、研修等の情報を提供し、参加できる環境を整えている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>有資格者は、各種団体を通して、交流・情報交換を行っているが、その他の職員については、各種研修会への参加を促している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前は、事前の見学等を行っているが、難しい場合は、ご家族に説明を行っている。</p> <p>入居後は、管理者及び計画作成担当者が、入居者及びご家族と積極的にコミュニケーションを図るようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前は、事前の見学等を行っているが、難しい場合は、ご家族に説明を行っている。</p> <p>入居後は、管理者及び計画作成担当者が、入居者及びご家族と積極的にコミュニケーションを図るようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居時に、本人情報把握を行い、現状を確認して、サービスの内容を検討し、本人が落ち着くまでは、ご家族との連絡を密にしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者一人ひとりの状態に応じて、個々の状態に対するサービスが提供できるように努める。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族の援助ができる方は、日用品との購入をお願いし、持参していただき、面会の回数を増やしている。</p> <p>受診が必要な場合は、ご家族に必ず、連絡をし、状況に応じて、医療機関に付き添ってもらう。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>身近な必要品については、本人を同伴し、買物に出かけることもある。</p> <p>面会の制限は、原則設けず、外出・外泊は、ご家族の同意の下、拒否することはない。</p>	<p>家族や友達の面会が多く、正月には自宅に外泊するなど、近所の友人との交流が多く、馴染みの関係が途切れない支援を行っている。買い物や墓参りに家族と一緒に出かけたり、馴染みの美容師に訪問してもらっている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>常に孤立感を与えないように、食事やおやつは、原則リビングにて他の入居者とのコミュニケーションを図ってもらう。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>本人及びご家族からの要望があれば、積極的に関わりを持って、対応に当たる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人及びご家族とのコミュニケーションを円滑にして、入居者の思いに添えるように努める。	ケアを通して思いや意向を把握し、日誌やケア記録帳に記録し職員で共有している。把握の困難な場合は家族に状況を聞く等、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人及びご家族から、以前の生活に対する情報収集を随時行い、比較的良いと思える生活環境に近づけるように努める。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者個々の生活リズムを日々の介護記録及び会話から情報収集を行い、落ち着いて生活できる環境づくりに努める。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議において、個々の状況を確認し、介護計画との整合性を図りながら、状態の変化に応じて、変更するように努める。	本人・家族・介護担当で話し合い介護計画を作成している。家族から事前に要望・意見など聞く事もある。モニタリングは4ヶ月に1回行っており、その都度、状態の変化で変更している。	モニタリングの支援記録を作成されることを期待する。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日常の変化については、介護記録に記載し、状態の変化ある方については、介護方法を検討するように努める。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>個々の状態に応じて、統一した介護を実施するように努める。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>面会及び慰問等の訪問については、原則自由として、常に人の出入りがある状態を目指し、地域から孤立することが無いように努める。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関に、定期受診を行い、往診や緊急時の対応もできる体制を整えている。 本人並びにご家族の希望や専門的な治療を望む場合は、他の医療機関の受診も可能にしている。</p>	<p>本人や家族が希望するかかりつけ医に受診している。定期受診は事業所で行っている。専門的治療など、適切な医療が受けられるよう支援している。受診後の報告は家族に連絡している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関に、主治医になってもらい、随時入居者の状態を伝えられるような体制を整えている。</p> <p>また、ホームと併設する通所介護の看護婦と入居者の状態を共有している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>協力医療機関に、主治医になってもらい、随時入居者の状態を伝えられるような体制を整えている。</p> <p>退院前に、主治医より説明を受けてから、退院の準備を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>協力医療機関に、主治医になってもらい、随時入居者の状態を伝えられるような体制を整えている。</p> <p>状態の変化に応じて、緊急搬送を行うことや重篤時などの対応についても、ご家族に入居時に説明を行っている。</p>	<p>入居事前に重度化に向けての説明を行っている。状態の変化で家族やかかりつけ医と話し合っ て支援している。家族の協力の下で看取りケアも検討している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の対応も随時院内研修を実施するように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回防火管理者の計画で消防署の協力を得て、避難訓練並びに消火訓練を実施している。</p>	<p>年2回消防署の協力の下で、火災避難訓練を夜間想定で実施している。緊急通報装置の連絡網で、管理者・区長・民生委員に連絡できる。台風時の発電機も設置している。災害時の飲料水や食糧の備蓄やオムツなどの準備もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の人格の尊重・尊厳の重要性を理解するように、努める。	プライバシー確保の研修会を開催している。声かけには十分気を付けるようにしている。命令口調を禁止したり、さりげない言葉かけに努めている。気づいた時は管理者は職員に直接注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々の思いを理解し、自己決定できるような環境を整える。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の生活リズムで、安心・安全に生活できるような環境を整える。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	整髪や服装など、個々の好みを把握し、他の入居者が不快にならない程度に、自己決定できる環境を作る。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事については、厨房にお願いすることで、栄養バランスの取れたものを提供し、個々の状況に合わせて、配膳・片づけを行ってもらう。 食事は、入居者と一緒に会話を楽しみながら行う。	食材の野菜の下拵えや豆の皮むき・配膳の手伝い・お盆ふき・台拭きなど、職員と一緒にやっている。天気の良い日はテラスや園庭でお茶を飲みおしゃべりするなど、食事を楽しむ支援ができています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の形態や水分摂取は、変化のあったときは、日々の記録に記載し、対応を検討する。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、個々の状態にあった口腔ケアを実施し、状態に変化があるときは、検討する。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の状態に応じて、失禁をできるだけ少なくなるように、声かけを行い、介助する。	排泄チェック表を参考にして声かけしトイレ誘導を行っている。車椅子使用の利用者もポータブルトイレの介助を行い、個々の状態に合わせ排泄の自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を利用し、個別の排便リズムを把握する。 下剤等の使用を極力抑えながら、排泄できる環境を整える。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個々の状態に応じて、週2回以上入浴できる環境を整える。	入浴の曜日は決めているが、個々に希望する日に入浴できるようにしている。拒否される利用者も声かけで入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の入眠リズムを把握し、安眠できる環境を検討する。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の状態に合わせて、服薬介助の方法を検討する。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>日々の生活を充実できるように、個々の行動を制限せず、できることは自ら行えるような環境を整える。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>外出・外泊等を希望されるご家族がいる場合は、原則断らない。</p> <p>職員が付き添う場合は、状況を見て、検討する。</p>	<p>毎日、戸外に出て、散歩や園庭でのお茶・テラスでおしゃべりをするなど、外出支援を行っている。年2回は遠出ができるような支援を計画し出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居者及びご家族の同意を得て、小額を預かり、必要に応じて、買物支援を実施する。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人が、希望すれば電話を利用できる環境を整える。</p> <p>その他通信手段についても制限をしない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個々の居室については、本人及びご家族の判断で、模様替えを行い、生活し易い環境を整える。</p> <p>リビング等共同で使用する場所は、多数の入居者が不快にならないような環境にする。</p>	<p>リビングには季節の花が飾られ壁には利用者の作品のぬり絵が掲示されている。リビングから庭へ出入りがしやすく、洗濯干しなどを手伝う利用者やテレビ鑑賞・職員との会話など、自由に楽しんでいる。2ユニット間を自由に往来でき、デイサービスでリクレーションなどに参加する事もあり、楽しく過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングを共有スペースとして、TVの設置、畳を置いたりして、全体で安心・安全な環境づくりを心がける。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個々の居室については、本人及びご家族の判断で、模様替えを行い、生活し易い環境を整える。</p>	<p>タンスや仏壇・テレビなどを持ち込み、壁には家族の写真などを飾り、本人の好みで生活しやすい環境を整えて、居心地よく暮らしていけるような工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すりの設置、車椅子でも使用できるトイレ等、個々の入居者が安全に生活できる環境づくりを心がける。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
		○	3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない